

# 教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に掲載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	音楽（器楽）	2	1

## 調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点 発行者	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目次で、大きく2つ目標を示している。</li> <li>・各楽器の基本的な演奏法が写真を使って示されている。</li> <li>・リコーダー練習曲のページの端に、運指の図を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「合わせて練習しよう」で「Let's play!」「Let's try!」のアンサンブル曲を掲載している。</li> <li>・「名曲旋律集」でソロ楽譜を掲載している。</li> <li>・手作りの横笛の作り方を説明と写真で掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシック音楽、日本歌曲、日本古来の歌、わらべうた、日本の民謡、世界の民謡、映画・ポピュラー音楽、その他・オリジナル曲を練習曲、アンサンブル曲として掲載している。</li> <li>・楽器は、アルトリコーダー・ギター・箏・三味線・篠笛・太鼓・尺八を取り上げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロの演奏家の写真と言葉を掲載している。</li> <li>・基本的な奏法を写真で示している。</li> <li>・鑑賞教材を示すマークを目次と該当ページにつけている。</li> <li>・キャラクターの吹き出しで、練習ポイントを示している。</li> <li>・楽器ごとに色分けして、目次や本文の見出しに使用している。</li> <li>・ギター&amp;キーボードコード表を写真と図で示している。</li> <li>・箏の楽譜は五線を併用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介する文や表現の工夫を伝えよう課題を提示している（3か所）。</li> </ul>
27 教芸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽学習マップで器楽と創作の目標を示し、「Let's play instruments!」で学習目標と学習活動を示している。</li> <li>・各楽器の基本的奏法が写真を使って示されている。</li> <li>・打楽器については、12種類の楽器の奏法が説明と写真で示されている。また、練習のためのリズム譜が掲載されている。</li> <li>・練習曲の楽譜横に、音域を示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アンサンブルセミナー」で、「ここが分かれば Grade up!」として、アーティキュレーションの工夫、パートの役割、曲の構成を取り上げている。</li> <li>・「アンサンブル」では、学習した各楽器を組み合わせた楽曲を掲載している。</li> <li>・「名曲スケッチ」で、アルトリコーダーで名曲のテーマを演奏できる楽譜を掲載している。</li> <li>・「音を聴いて確かめよう」で内容と方法が示されている。</li> <li>・「My Melody」で、箏を平調子に調弦して旋律をつくる課題を設定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラシック音楽、日本歌曲、日本古来の歌、わらべうた、世界の民謡、映画・ポピュラー音楽、その他・オリジナル曲を練習曲、アンサンブル曲として掲載している。</li> <li>・楽器は、アルトリコーダー・ギター・箏・三味線・篠笛・太鼓・尺八・打楽器（12種類）を取り上げている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロの演奏家の写真と言葉を掲載している。</li> <li>・基本的な奏法を写真で示している。</li> <li>・キャラクターの吹き出しで、ポイントやヒントを示している。（アンサンブルセミナー、My melody）</li> <li>・楽器ごとに色分けして、目次や本文の見出しに使用している。</li> <li>・箏の楽譜は五線を併用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アンサンブルセミナー」のリズム伴奏の創作において、グループで活動できるよう、工夫する視点と学習活動の手順が示されている。</li> </ul>